

構造力学 B(Structural Mechanics IB)

担当教員名	石丸 和宏	
学科、科目詳細	都市システム工学科 3年 後期 専門科目 必修科目 1単位 講義	
学習・教育目標	(C)(D)(F)	
科目的概要	構造力学は、力学の基礎の一つであり、本講義では主としてはりの断面力、たわみについて学習する。	
テキスト(参考文献)	崎元達郎:「構造力学[上]」、森北出版	
履修上の注意	数学を理解していること。授業ではしっかり黒板をノートに写し、演習中にわからないところは、その時間内に理解できるよう質問をすること。自宅での復習を行い、試験直前に覚えるような勉強をしないこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合) 成績評価は、定期試験(80%)とレポート(20%)とする。ただし、欠席をした場合は減点、授業において優れた回答をした場合は加点とする。 60%以上達成したものを合格とする。	1/3以上の欠課
連絡先	ishimaru@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容

- 第1週 単純ばりの影響線について説明する
 第2週 片持ばりの影響線について説明する
 第3週 静定、不静定の判別およびゲルバーばりの支点反力を説明する
 第4週 ゲルバーばりの断面力図の求め方を説明する
 第5週 ゲルバーばりの影響線の求め方を説明する
 第6週 弹性荷重法について説明する
 第7週 弹性荷重法について説明する
 第8週 中間試験
 第9週 たわみ曲線について説明する
 第10週たわみ曲線について説明する
 第11週節点法によるトラスの解法を説明する
 第12週断面法によるトラスの解法を説明する
 第13週 トラスの影響線の求め方を説明する
 第14週 トラスの影響線の求め方を説明する
 第15週 柱の座屈および核について説明する
 期末試験